

死にかけた赤ちゃんと治療法の発明

鈴木裕美

今回の選考にあたり、これまでもずっと意識してきたが、コロナ禍の現状に依り、より強く意識した点が2点ある。

その1

「血を流している傷口を見せるのは子供の表現。大人の表現は、傷跡を見せる。つまり、どう治ったかを見せるのが成熟した表現」という文章を以前どこかで読んだことがある。成熟した表現を目指すべきだという趣旨の文章だったと記憶しているが、私は必ずしもそうは思わない。当たり前だが、人は時代と共に変化している。今までは考えられなかった「まだ戯曲や小説に登場していない新しい傷」というものがあると思う。例えば、感染の初期に起こった、「近くに居ながらも親しい人の死に目に会えない、死顔さえ見られないこと」などは今までは考えられなかった新しい傷だと思う。

若い人たちの傷つき方が、私の世代とは違うと感じることもよくあることだ。そういう新しい傷、これまで人類が受けてこなかった、いわば出来たてホヤホヤの傷を、まだ治っていない、血を流したままの状態で見せること、それは大変刺激的で面白いと思う。

しかし、やはり私の胸を打つのは「治った、あるいは治る方向が示されている傷」だ。特にその治し方、治療法が、今まで見たことがない新しい方法だった場合、強く心が動く。それは文字通りの意味で、発明だと思う。どんなささやかな発明であっても、その発明が描かれている戯曲を読みたい。

誤解のないように付け足せば、戯曲の中の登場人物の傷が具体的に癒える物語を読みたい、ということではない。登場人物は傷を負ったままだったとしても、戯曲自体が発明品となっているかということだ。

その2

長くなるし、ご存知の方も多いと思うが、ジョニー・ウォーカーのCMの元ネタを引用したい。アルゼンチンのゴルファー、ロベルト・デ・ビンセンゾはあるとき、トーナメントで優勝し、賞金の小切手を受け取ってカメラの前で笑顔を振りまいてから、クラブハウスへ行って帰る準備をした。それから一人で駐車場に歩いて行くと、若い女性が近寄ってきた。

女は「優勝おめでとうございます」と言い、それから「子供が重い病気で死にかけています。でも診察代や治療費を払えるかどうかかわからないんです」と訴えた。

デ・ビンセンゾはその話に心を動かされ、ペンをとって優勝賞金の小切手がその女に支払われるよう裏書きした。それから、「少しでも赤ちゃんの役に立てば」と言って小切手を手に握らせた。

翌週、カントリークラブで昼食をとっていると、全米プロゴルフ協会の役員がテーブルにやってきた。「先週、駐車場にいた人たちから聞いたんだが、君がトーナメントに勝った後、そこに若い女がきたそうだね」。デ・ビンセンゾはうなずいた。役員は言う。「でね、伝えないといけないことがある。あの女は詐欺師だ。病気の赤ちゃんなどいない。結婚すらしていないんだ。君から巻き上げたんだよ」。

「死にかけている赤ちゃんはいないってことですか？」

「そうだ」

「それは今週聞いた中で一番いい知らせですよ」。

私は、安易に死にかけている赤ちゃんを登場させる戯曲に、強い言葉で言えば、楽にお金を儲けようとする詐欺師のような、怠惰なものを感じる。

今回、私は『あつい胸騒ぎ』『カンザキ』『セミの空の空』に強く惹かれた。

『あつい胸騒ぎ』

人々の心の揺れが、鋭い観察眼によってシニカルに、しかし愛情を持って描かれていると思う。多くの人が見逃しがちな、愛おしく愚かな人々の瞬間は、それを丁寧に掬い上げてくれるだけで、傷の治し方の新たな発明だ。どの登場人物も演じがいがあり、俳優を魅力的に見せ、観客も楽しみ、慰められると思う。しかし、登場人物の乳がんが、どうしても死にかけている赤ちゃんであると感じた。また、ラストシーンの母親が娘の胸を触ることは、傷の治し方の発明とは全く感じられなかった。

『カンザキ』

まるでその場に行ったことがある、その人に会ったことがあると錯覚させるほど、人々や場の空気が生き生きと描かれている。これは凄いことだと思う。登場人物の死も、死にかけている赤ちゃんであるとは感じなかった。ラストシーン、作家にとってどうしても必要だったのだろうと思うが、私には新たな発明とは読み取れなかった。次の作品も是非読みたい、おこがましい言い方だが、演出させてもらいたいと、素直に思った。

『セミの空の空』

言葉の使い方、リズム、無数のチャーミングなアイデアに溢れている。何よりも評価したい点は、この戯曲における死の扱い方そのものが、新たな治療法の発明であると感じるところだ。スレてしまっている、無垢ではなくなってしまうと自分に対して思う。だから、治療法を提示されても、常に疑いを持って、簡単には飛びつかないぞと身構えてしまう。それでも私が、私たちが劇場に行くのは、どんなにささやかなものでも、作家が発明した新たな治療法を観たいからではないだろうか。